

カタカナ語 (外来語) 基本語彙550語¹⁾

—— その語彙特性と選定基準 ——

井 上 道 雄

Basic Vocabulary List of 550 Katakana Loan Words in the Japanese Language

キーワード：カタカナ語、分節表記、基本語彙、親密度、使用度、造語力

カタカナ語 (外来語) の基本語彙選定の目的

カタカナ語には、歴史的に早くから借用されかつ今でも広く使われている語と、一時的によく使われるがやがて消えてしまう流行語のような一過的な語がある。前者は、日本語の語彙として長く使用され、なくては不便を感じるいわば「備品的な語」である。それに対して後者は、一時的な言語状況のなかでもてはやされるが、日本語として定着することなくやがて日常的使用場面から消えていく「消耗品的な語」である。今日のカタカナ語の氾濫と混乱は、この消耗品的な語によるところが大きいものと思われる (井上, 1998)。そして、この混乱は、カタカナ語の特徴である流行性と専門性から考えて今後とも続くだろう。そのさまざまな混乱と批判の原因のひとつとして、備品的なカタカナ語と消耗品的なカタカナ語を同質のものとして扱っていることによるのではないだろうか。

内閣告示 (1991) 「外来語の表記」 (国語研究会監修, 2001) は、カタカナ語の日本語への定着度を「国語化の程度」として三種類に分けている。①借用した時代が古く、国語に融合している語 (たばこ・てんぷら)、②日本語として定着しているが、外国語の感じが残っている語 (ラジオ・スタート)、そして、③まだ日本語として定着せず外国語の感じが残っている語 (ジレンマ・フィクション) である。これらの「国語化の程度」の①と②が「備品としてのカタカナ語」にあたり、③はやがて備品語として国語化していくかもしれないが、現在の時点では消耗語といえるものだろう。さらには、④番目としてほとんど「国語化」していなく、外国語としての生っぼさが強く残る語がある。この種のカタカナ語が、③とともに日本語の混乱とそれへの批判を生んでいるものといえる。つまり、「消耗品的なカタカナ語」である。国立国語研究所の「外来語言い換え提案」は、このようなカタカナ語批判に対する一つの具体的対策である

1) 本研究の一部は、日本教育心理学会第46回大会 (2004) で発表されたものである。

だろう。

カタカナ語基本語彙の選定は、カタカナ語の日本語への定着度や使用範囲の一般性に留意して、カタカナ語を分類することを目指すものである。そして「備品的なカタカナ語」の選定を意図するものである。それによって、学習すべき語としてのカタカナ語を策定することが可能となり、日本語学習者への補助になるものと期待できるだろう。

「国語化の程度」の三種類の分類は、カタカナ語 (外来語) の借用時期である歴史的な側面に重点を置いているように思われる。また、その「国語化の程度」は主観的なものであるといえる。今日、コンピュータの導入により膨大な語彙資料が提供されてきている。そこで、カタカナ語基本語彙の選定は、このような客観的データに基づいて日本語として定着しているカタカナ語 (外来語) リストを作ろうとするものである。本稿の目的は、基本語彙選定のための語彙特性とその選定基準を検討することにある。そして、選定基準に基づいて「カタカナ語基本語彙リスト」の試案を提示することである。

カタカナ語基本語彙選定の基本的考え—基本語彙としての特性

井上 (1998) は、カタカナ語を理解しやすくするために複合語の分節表記法を提案した。複合語の構成要素 (単一な意味要素) 間にアンダー・バー (-) の符号を挿入することによって分節表記する方法である。分節表記法は、語長の長いカタカナ語を読みやすくし、意味の理解を促進させた (井上, 1999, 2001)。この分節表記法の考えに基づいて、基本語彙は語の最小の単位である単純語 (単一語) を原則として選定する。それは、単純語レベルでの意味を理解することによって、その合成語である複合語の意味理解を助けるだろう。例えば、複合語「ガム - テープ」の意味は、単純語「ガム」と「テープ」から意味の推測を容易にする。また、基本語彙としての単純語は、その組み合わせによって新たな合成語を作る可能性が高く (水谷, 1983)、その理解を助けるだろう。

単純語を基本語彙の選定対象語にする利点は、過去の使用状況との比較分析をやりやすくする。例えば、現在は使用度の高い「ガム - テープ」は複合語を単位としては過去 (昭和初期) に使用されていないが、「ガム」と「テープ」の単純語としては、それぞれ使用されている。もしそうならば、複合語よりも単純語単位での比較分析が、その語のある一定期間にわたる語使用の安定性をよりよく反映した指標となるだろう。

さらに、単純語を選定対象語とすることによって、カタカナ語の造語力を客観的に分析できるだろう。カタカナ語には、単純語 + 単純語の合成による複合語が多くある。この種類の複合語には、合成のタイプによって、原語が複合語 (ゲスト - ルーム) のもの、和製語 (テーブル - スピーチ) のもの、そして混種語 (エネルギー - 資源) のものなどがある。これらを一括して単純語の造語として扱うことができる。そして、複合語の略語 (パソ - コン) や派生語についても造語の分析対象となるだろう。

これらの分析上の利点を考えて、カタカナ語基本語彙は原則として単純語を単位とする。

つぎに、カタカナ語基本語彙(単純語)に必要な特性についてである。日本語全般についての基本語彙の特性としては、①時代による変動の少ない語、②広く一般に使われている語、③複合語の構成要素となる語等があげられる(水谷,1983;森岡,1987)。これらの日本語基本語彙に要求される特性は、カタカナ語基本語彙についてもいえるものである。そこで、カタカナ語基本語彙の特性として、以下の三つの要因が基本的なものと考えられる。

第一には、語の使用度である。基本語彙は「広い範囲にわたり数多く用いられている語、すなわち、使用範囲が広く、使用率の大きい語」(野村・小池編,1992)である。それに適した語の特性としては、まず現在の語使用度であり、その語の熟知性である。熟知性が高い語は、日常的に見慣れた語であり、したがってその使用範囲も広いといえるだろう。

外来語定着度調査(国立国語研究所,2004)によれば、認知率(その語を「見聞きしたことがある」と答えた人の比率)と使用率(その語を「使ったことがある」と答えた人の比率)は高い相関を示している。この調査結果は、語の熟知性が日常生活での実際の語使用の広さを示しているといえる²⁾。

第二の要因は、語の使用度に加えて、語使用の時間的な安定性である(国際文化振興会,1944)。その語が現在にいたるまでどれほど一貫して使用されてきたかである。カタカナ語は、新語が多く流行性が強いという特徴をもつ語種である。消耗品としてのカタカナ語、つまり一時的によく使用されるが短期間のうちに消えていく語(死語)は基本語彙としてふさわしくないだろう。語彙使用の安定性のある語は、ある程度の長期間にわたって使用され続け、日本語への定着度の高さを示すものといえる。

カタカナ語使用の問題点のひとつに、世代間のギャップ(文化庁文化語部国語課,1998;井上,1998)がある。語使用の安定性とは、この世代間のギャップをこえて一貫して使用されていることである。世代間を通じて使用される語のもつ安定性は、基本語彙の選定基準に寄与するだろう。

最後に、第三の要因は単純語のもつ造語力である。造語力は、単純語が語構成要素として複合語を合成する機能の高さによって示すことができる。より多くの語形成の構成要素となることは、語の使用度の高さに加えて語の造語要素としての安定性を示すものと考えられる。この単純語の造語力は、その語を造語要素とする合成語の数として反映されるだろう。また、そのような語は、造語要素(単純語)を通じて他の多くの合成語との間により強い結びつき、つまりネットワークを形成しているだろう。従って、造語力の高い語は、多くのカタカナ語がもつ流行性とは異なり、将来にわたり使用される可能性が高いといえる。

以上の考えから、カタカナ語基本語彙を選定するにあたっては、次の基本的な方針に基づい

2) 語の使用範囲の広さは、①広い言語領域で使われている語、②特定の年齢や言語状況(例えば、話しことばと書きことば)をこえて使用される語の二つの面があるだろう。「外来語定着度調査」は、②の語使用範囲である。本稿でも②の使用範囲としてこの語を用いる。

ておこなった。

- ①基本語彙は、1,000語以内とする。日本語学習者の学習すべき最低限の語数として、少数の基本的な語にしぼる。
- ②三つの要因をできるだけ満たす語を選定する。図1に示すように、現在・過去・未来の時間軸で長く安定して使用されている単純語を基本語彙とする。

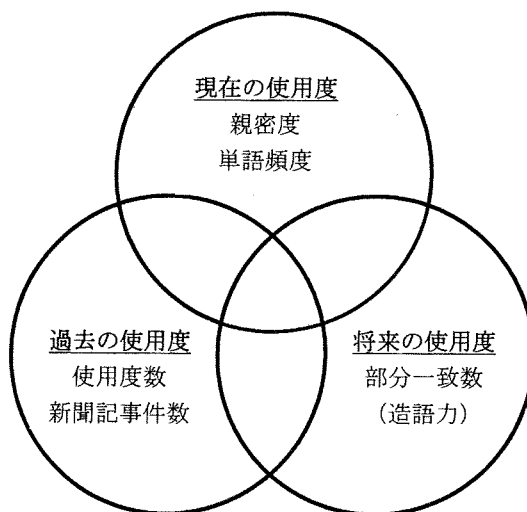


図1. カタカナ語基本語彙選定要因と資料

第一次選定段階—単純語・合成語と親密度

単純語としての判断について

基本語彙の対象語は原則として単純語としたが、語彙選択の過程で出てきた問題点とその取り扱いについて下記にあげる。本来の単純語の定義からはそれるが、カタカナ語基本語彙の対象語は日本語として受容されたものとみなしたうえで、カタカナ語の原語の形態にとらわれないうで暫定的な判断基準を設けたものである。

まず合成語の分節による単純語については、以下の判断でおこなった。

- ①複合語 (ファッション-モデル) は、その語構成要素 (ファッションとモデル) に分節して単純語として扱う。
- ②複合語の略語 (ワー-プロ) は、その構成要素語 (ワードとプロセッサ) として扱う。
- ③単純語として分節しがたい複合語は、単純語とみなす。原語としては分節 (grand prix) できてもカタカナ語としては構成要素が一体化して一語 (グランプリ) とみなされるものである。(他に、スポークスマン、ニックネーム、ハイファイ、プリマドンナなど)。
- ④派生語 (リサイクル) は、③と同様に日本語としては接辞と単純語 (語基) が一体化したもののとして一語として扱う。したがって、派生語の接辞は単独語としては基本語彙の対象か

ら除外する。準接辞(ノー-コメントやノック-ダウン)については、構成要素を単純語とみなして基本語彙の対象とする³⁾。

- ⑤カタカナ語を含む混種語(シャボン玉、老人ホーム、Uターン)は、カタカナ語の部分を対象語(シャボン、ホーム、ターン)とする。そして、カタカナ語が合成語であれば、上記の判断基準に従う。

以上の判断基準にのっとった単純語は、さらに次の判断基準のもとに基本語彙の選定対象語とした。

- ①略語(アルミニウム/アルミ)は、熟知度(次に述べる選定資料での親密度・使用頻度にもとづく)の高いもの(アルミ)を基本語彙選定の表記語とする。
- ②表記のゆれのある単純語(ライブ/ライヴ)は、親密度の高いもの(ライブ)を基本語彙選定の表記語とする。親密度が同じ場合(アイデア/アイデア)は、単語頻度の高い値のほうを表記語とする(アイデア)。
- ③アクセントの違いによるもの(アルファ-、スケジュール)は、高親密度を採用した。
- ④ひらがなや漢字表記の外来語(てんぷら/天婦羅)は、カタカナ表記(テンプラ)にする。
- ⑤基本語彙の対象語として採用しない語は、固有名詞(人名、地名、商品名、種族名)である。ただし、普通名詞化している語は対象語として採用した(バイキング、ジャングル-ジム、ウイナー-ソーセージ等)。また、ジャパ-ンは固有名詞であるがあえて採用した。対象語は原則として単純語単位であることから、冠詞(ザ)、句(メイド-イン-ジャパ-ン)、文(サンキュー)は除外した。

現在の語の熟知度—親密度

現在使用されている語彙の熟知度の資料として、『日本語の語彙特性 第1巻 単語親密度』(天野・近藤編著, 1999)⁴⁾から文字音声単語親密度の指標を用いた。文字音声単語親密度は、文字単語とその音声単語を同時呈示し、その親密度を7段階尺度(1:低—7:高)で評定させたものである。この指標は文字親密度との相関が高く、文字単語とほぼ同じように親密度評定がされていることから採用した。

選定過程

単語親密度の分布(天野・近藤, 1999; 近藤・天野, 1999)から親密度5.000にひとつの境目があることから、親密度5.000以上の語彙を基本語彙の対象語とした。複合語は、語構成要素単位(単純語)に分節した後、それぞれの親密度を上記の「単純語としての判断」に基づいておこなった。

その結果、親密度5.000—5.499の語彙数は746語であり、その内訳は単純語457語(61%)・複合語289語(39%)であった。分節後の構成要素語(523語)の親密度は、6.000以上270語・

3) 接辞は多くの派生語を生み、カタカナ語理解の大きな手がかかる。別途に接辞のみについてのリストを作る必要があるだろう。

4) 親密度の調査語は、『新明解国語辞典第四版』(金田一他編(1989)の見出語、子見出し語等の単語数6万9千余である。

6.000未満137語・親密度なし116語であった。

同様に、親密度5.500～5.999の語彙数は1,277語であり、単純語938語 (73%)・複合語339語 (27%) であった。分節後の構成要素語 (613語) の親密度は、6.000以上333語・6.000未満152語・親密度なし128語であった。

親密度6.000以上では、語彙数が1,191語であり、単純語988語 (83%)・複合語203語 (17%) であった。分節後の構成要素語 (373語) の親密度は、6.000以上207語・6.000未満93語・親密度なし73語であった。

単純語の占める割合は、親密度が高くなるにしたがい大きくなっている (61-73-83%)。また、分節後の各構成要素語 (単純語) の親密度は、ほぼ半数強が親密度6.000以上であった (52-54-55%)。複合語の構成は、そのほとんどが二語の構成要素語 (単純語) から成り立っている。この点を考えれば、親密度の高い単純語 (6.000以上) は多くの複合語 (少なくとも親密度5.000以上の語) の語構成要素の核となっているといえる。複合語の語形成からみれば、高親密度の単純語はその骨組となる語とみなせるだろう⁵⁾。それはまた、基本語彙のもつべき特性でもある (水谷, 1983)。

以上の選定過程から、親密度6.000以上の単純語と複合語 (親密度6.000以上) の構成要素語 (6.000未満の単純語も含む) を選定候補にしぼった⁶⁾。その結果、一次選定された対象語は1,036語である。

第二次選定段階—現在・過去・将来の語使用度

一次選定対象語について、その語使用の安定性を見るために現在・過去・将来の語使用の各資料を調査した (図1参照)。以下が、その採用資料と選定過程についてである。

現在の使用度—単語頻度

語彙の使用度は、『日本語の語彙特性 第7巻 頻度①②』(天野・近藤編著, 2000) より、朝日新聞記事データ1985年から1998年までの14年間の単語頻度 (全体) を用いた。

単語頻度と単語親密度の相関は中程度であり、二つの指標が同等であるとみなせるほど高くない。単語頻度は、新聞記事ということからも、文字表記語を強く反映したものである。単語の認知は、単語頻度より単語親密度を強く反映している。単語親密度は、主観的な「なじみ」の程度、つまり評定者の言語知識や言語経験を直接に反映しているといえる (天野・近藤, 2000)。

選定過程

一次選定された基本語彙対象語について単語頻度を調査した。

『単語頻度データベース』から単語頻度 (全体) を選定した際の判断基準は、以下のとおりで

5 混種語も含んでいる。特に混種語のカタカナ語部分は親密度が高い。

6 複合語としての親密度は6,000以上であるが、分節後の各構成要素語レベルでは親密度6,000未満の単純語がある。他の語使用度の要因との関係に考慮して判定することとし、これらの語も対象語として採用した。

ある。

- ①品詞記号は、普通名詞（「普名」）を採用した。
- ②表記のゆれている対象語（略語も含め）は、単語頻度の高い値のほうを採用した。ただし、語の表記は親密度で採用された表記である（スパゲティーとスパゲッティー）。
- ③同一表記で「普名」と「個名」の両方にあるものは「普名」を採用した（オレンジ）。
- ④「普名」で重複する語はひとつを採用した（スポット）。
- ⑤単位（「単」）と「普名」の両方にあるものは頻度の高いほうを採用した（カップ）。

過去（昭和60年代）の語使用度—『雑誌九十種』の使用合計度数

過去の語使用度資料のひとつとして、『現代雑誌九十種の用語用字 全語彙・表記（FD版）』（国立国語研究所，1997）を用いた。本資料は、1965年当時の代表的な一般雑誌九十種についての語彙調査資料である。そこからカタカナ語が使用された合計度数を用いた。現在の単語頻度の調査時点からくらべて一世代（20年から30年）前の資料となる。

選定過程

基本語彙の対象語（単純語）について、『雑誌九十種』からは使用度として合計度数を用いた。選定時の判断基準は、以下の諸点である。

- ①略語と重複している語は、親密度の高い語表記の度数を採用した（アマチュア（親密度 6.094、度数11）／アマ（それぞれ5.625と3）は、アマチュアを採用）。
- ②表記のゆれ（アルファー／アルファ）は、基本的には親密度の高い語の表記を採用する（アルファー）。
- ③多義語は、合計度数の高いほうを採用する（ボール ball 14／bowl 4はballを採用）。ただし、親密度としては多義語の意味特定はできない。

将来の語使用度—造語力（合成語の部分一致）

カタカナ語のもつ造語力は、単純語が語構成要素の一部として合成語（複合語や派生語）を作る働きと考えられる。特に和製語や混種語は、日本語を乱している元凶と批判されるが、単純語レベルでのカタカナ語が日本語に定着していることを示すものでもある。そして、カタカナ語が単純語の単位で認知されていることを、さらには下位（単純語）から上位（合成語）の語レベルへと意味統合によって語が形成されていることを示している。そこで単純語の造語力として、『広辞苑 第五版（CD-ROM版）』（新村出記念財団，1998）より当該の単純語を含む合成語数を指標とした。

選定過程

一次選定の対象語1,036語について、見出し語の部分一致検索をおこなった。部分一致は、合成語の各種類および句・文ごとに分類し、その合計数を対象語の造語力と考えた。下記に合

成語の種類と句・文についての判断基準を示す。

- ①原語として合成語である(アウト-サイド)。原語は「outside」として一語で表記されているが、複合語として分節し各構成語を単純語として扱った。
- ②和製語である(アウト-コース)。
- ③混種語である(アルコール中毒)。ただし言語名は除外した(オイル語)。
- ④派生語である(アイデアリスト)。接辞を含む語も単純語のもつ造語力という点から考えて採用した。ただし単純語(タイム)が接辞を含む合成語は、一次結合(タイムリー)までとし、二次結合(タイムリー-エラー)は除外する。
- ⑤句・文である(アウト-オブ-デート)。ただし、「～の～」形の句は除外した(エネルギーの法則)。
- ⑥アルファベット略語との合成語である(Qマーク)。
- ⑦固有名詞を含むものは除外する。

三つの資料から得られた語使用のデータに基づいて、一次選定対象語1,036語をさらにしぼることを目的として第二次基本語彙対象語を選定した。二次選定基準は、単語頻度(全体)140以上、合計度数5以上、部分一致数3以上のうちいずれか一つの条件をみたす語である。選定の結果、二次選定対象語として882語を採用した。

第三次選定段階—過去(昭和初期)の使用度

最後に、さらに過去にさかのぼった使用度データによって、より長い期間での使用度の安定性を選定要件に加えた。『朝日新聞戦前紙面データベース 昭和元年～9年編』(朝日新聞社、2001)である。現在の朝日新聞記事の単語頻度調査時からくらべて50年から70年前の資料となる。先の『雑誌九十種』とくらべてさらに一世代前の語使用度を反映している。現代の使用状況との比較によって、カタカナ語語彙使用のよりいっそうの安定性を示す指標となるだろう⁷⁾。

選定過程

『朝日新聞データベース』は、見出しと記事の中からキーワードで検索したものである。検索システムは1文字単位での全文検索ができるものである。二次選定対象語882語(井上、2004)の「カタカナ語基本語彙」(案)に対応している)をキーワードとしてその語が使用されている記事の件数を調べた。記事中の語が対象語であることを判断するために、各記事内容を検討して採用した。ただし、当該のキーワードの記事件数は、5件を上限としてそれ以上は計数しなかった⁸⁾。その他の判断基準は、以下のものである。

7) 過去の語使用の有無に限って言えば、当時発行の外来語辞書で調べられる。例えば、『日本語となった英語—1931年に於ける我国外来語の総記録』(荒川惣兵衛、1931; 復刻版1982)は、昭和初期に使われていた外来語の辞書である。

8) 当該語の記事件数が、5件以上あれば当時その語が一般に認知されていたと推測される。本来なら、記事内容を精査し、その使用度数を調べるべきであるが、実際上不可能であるのでこの調査基準を採用した。

- ①表記のゆれや略語は、キーワードの同一語として採用した(ハンカチとハンケチ、ビルとビルヂング)。
- ②単純語のみでなく複合語の一部(単純語)として用いられている語も採用した(プロとプロゴルフ)。
- ③固有名詞(人名、地名、会社名等)は除外した。

本段階では、第二次選定段階とは逆の観点からの選定基準を設けた。前段階の選定までは、現在の使用度(親密度や単語頻度)に基盤を置いた選定であった。最終の選定である本段階では、過去と将来の語使用の面から選定をおこなった。現在の語使用(単語頻度)条件を除いて、合計度数5未満、部分一致5未満、そして昭和初期の朝日新聞記事数が3未満の三つの条件をすべてみだす語を二次対象語から除外した。選定基準の要件に過去の使用度と造語力を加えることにより、図1で示したように、現在の語使用を基盤として過去もしくは将来との間に語使用の安定性をもつ語である。その結果、581語が選定された。そして、切れのいい数字にするために、581語より単語頻度の小さい値から31語を除外した。

付表「カタカナ語基本語彙550語」は、以上の三つの基本語彙選定段階をへて選択したものである。しかし、この基本語彙が決して固定したものでないことはいうまでもない。ことばは、時代・社会とともに変化している。ましてやカタカナ語(外来語)は、語の消長が激しい語種である。例えば、現在の語使用度が非常に高いことば(マンション、ボランティア等)であっても、過去・将来の語使用度のいずれの選定基準からももれたのである。やがて日本語の「備品」として定着するかもしれないが。ただ、各選定段階で採用した資料から、このカタカナ語基本語彙が一代(20年から30年)は、それほど変わらないものと考えている。

参考文献

- 天野成昭・近藤公久(編著) 1999 日本語の語彙特性 第1巻 単語親密度 三省堂
 天野成昭・近藤公久(編著) 2000 日本語の語彙特性第7巻 頻度①② 三省堂
 荒川惣兵衛 1931 日本語となった英語—1931年に於ける我国外来語の記録 研究社(復刻版 1982 名著普及会)
 朝日新聞社 2001 朝日新聞戦前紙面データベース 昭和元年~9年編 朝日新聞社
 文化庁文化語部国語課 1998 平成9年度 国語に関する世論調査 大蔵省印刷局
 井上道雄 1998 カタカナ語表記への言語心理学からの提案:読みやすい語表記をめざして一分節表記 神戸山手女子短期大学紀要 第41号, 45-58.
 井上道雄 1999 カタカナ語分節表記法の実験的研究—読み速度課題を用いて 神戸山手女子短期大学環境文化研究所紀要 第3号, 1-8.
 井上道雄 2001 カタカナ語分節表記法の実験的研究(補遺)—読み速度課題(単語・疑似語リストを用いて) 神戸山手女子短期大学環境文化研究所紀要 第5号, 21-26.
 井上道雄 2004 カタカナ語(外来語)の基本語彙選定—語彙特性と選定基準 日本教育心理学会 第46回総会発表論文集, 462.
 金田一京助・柴田武・山田明雄・山田忠雄(編) 1989 新明解国語辞典 第四版 三省堂

- 国語研究会（監修） 2001 第6次改訂 現行の国語表記の基準 ぎょうせい
国際文化振興会 1944 日本語基本語彙（日本語教育史資料叢書〈復刻版〉 1996 冬至社）
国立国語研究所 1997 現代雑誌九十種の用語用字 全語彙・表記 FD版 三省堂
国立国語研究所 2004 外来語定着度調査 <http://www.kokken.go.jp/public/gairaigo/Yoron/index.html>
近藤公久・天野成昭 1999 文字単語および音声単語の語彙判断に対する親密度の影響 日本心理学会
第63回大会論文集 464.
水谷静夫 1983 語彙（朝倉日本語新講座2）朝倉書店
森岡健二 1987 語彙の形成（現代語研究シリーズ1）明治書院
野村雅昭・小池清治（編） 1992 日本語辞典 東京堂出版
新村出記念財団 1998 広辞苑 第五版（CD-ROM版）岩波書店

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記 ^a	単語親密度 ^b	使用度 ^c	記事数 ^d	部分一致 ^e
1	アート	6,094	1438	3	0
2	アイ	6,531	133	3	>
3	アイデア	6,250	4780	11	21
4	アイロン	6,500	408	17	>
5	アウト	6,375	785	3	>
6	アウション	6,188	884	0	4
7	アウセサリー	6,406	632	16	>
8	アスファルト	6,219	845	2	0
9	アツプ	6,062	5062	0	4
10	アナウンサー	6,438	1667	6	>
11	アナウンズ	6,094	818	2	>
12	アパート	6,531	7341	34	>
13	アベック	6,188	5910	0	4
14	アマチュア	6,186	348	8	>
15	アマバイ	6,250	2479	11	0
16	アリバイ	6,031	589	3	2
17	アルコール	6,500	2385	13	3
18	アルバイト	6,625	4812	17	>
19	アルパム	6,594	2654	4	0
20	アルミ	6,094	2605	4	0
21	アレルギ	6,344	1838	5	4
22	アンコール	6,250	512	3	0
23	アンテナ	6,188	1891	3	3
24	イメージ	6,375	17058	11	0
25	インク	6,125	464	0	8
26	インターナショナル	6,188	833	0	>
27	インディアン	6,250	384	14	>
28	インフレ	6,125	724	0	>
29	インフル	6,094	8426	18	>
30	ウイスキー	6,406	1787	14	>
31	ウール	6,062	1787	18	>
32	エキストラ	6,125	237	1	1
33	エキスレーター	6,312	562	1	1
34	エネルギ	6,625	15142	15	>
35	エピソード	6,188	1778	8	>
36	エプロン	6,344	342	5	>
37	エレベーター	6,375	1979	4	>
38	エンジン	6,312	7331	22	>
39	オアシス	6,062	383	3	>
40	オイル	6,219	329	2	>
41	オーケストラ	6,156	2882	2	19
42	オーダー	6,186	236	8	2
43	オートバイ	6,344	2388	2	5
44	オートマチック	6,062	279	2	2
45	オーナー	6,156	3275	1	3
46	オーバー	6,250	2096	20	3
47	オーブン	6,312	5678	5	0
48	オフ	6,125	747	0	26
49	オフイス	6,312	3334	4	3
50	オペラ	6,344	3822	15	13
51	オリブ	6,094	413	0	4
52	オリンピック	6,406	4889	14	3
53	オルガン	6,156	428	3	9
54	オレンヂ	6,406	1742	3	>
55	カーゼ	6,031	178	4	>
56	カーテン	6,438	6,031	12	>
57	カード	6,469	10902	12	>

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記 ^a	単語親密度 ^b	使用度 ^c	記事数 ^d	部分一致 ^e
58	カード	6,156	631	1	>
59	カーニバル	6,094	245	0	0
60	カーネーション	6,219	299	4	>
61	カーブ	6,219	3272	15	>
62	カイト	6,219	2084	3	4
63	カウチ	6,250	1597	10	6
64	カウチー	6,219	201	6	1
65	カジュ	6,062	529	0	8
66	カズ	11251	24	2	3
67	ガリン	6,375	4689	24	83
68	カッター	6,562	320	1	4
69	カット	6,250	3946	10	20
70	カブ	6,125	1336	6	6
71	カバ	6,219	3497	10	>
72	カマエ	6,156	413	3	7
73	カマ	6,500	365	0	3
74	カマラ	6,719	8040	75	3
75	カラ	6,531	2464	19	29
76	ガラス	6,344	5641	28	38
77	カルシウム	6,469	1003	5	56
78	カレ	6,594	833	2	10
79	カレー	6,062	261	1	4
80	カレンジャー	6,531	1116	1	1
81	カロリー	6,250	999	6	>
82	キター	6,219	950	1	>
83	キツ	1317	1317	7	0
84	キツク	6,094	394	0	5
85	キヤスト	6,031	342	5	15
86	キャブテン	6,469	547	3	3
87	キャラ	6,031	298	7	0
88	キャラ	6,438	6180	11	4
89	クイズ	6,594	833	8	0
90	クッション	6,312	288	2	8
91	グラウンド	6,031	2619	15	2
92	グラス	6,375	9927	8	11
93	グラス	6,156	670	3	>
94	グラス	6,344	8401	8	29
95	グラス	6,250	2825	8	>
96	グラム	6,031	489	24	9
97	グラム	6,250	158	1	15
98	グラム	6,219	1188	1	3
99	クリニク	6,438	710	0	0
100	クリニク	6,406	284	26	3
101	クリニク	6,188	1087	17	0
102	クリニク	6,625	2028	17	12
103	クルーズ	6,406	58576	38	10
104	クレ	6,156	691	35	9
105	クレ	6,312	1342	2	0
106	クレ	1730	1730	0	4
107	ケーキ	6,562	942	2	10
108	ケーキ	6,094	22857	1	0
109	ケーキ	6,531	7146	18	18
110	コーン	6,156	10728	16	37
111	コーン	6,156	6332	14	16
112	コーン	6,344	2191	28	2
113	コーン	6,312	3933	3	31
114	コーン	6,719	2877	3	0
				22	6
					10

カタカナ語（外来語）基本語彙550語——その語彙特性と選定基準

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記	単語密度 ^a	使用度数 ^d	記事数 ^e	部分一致
115	ゴール	6,500	6,455	3	9
116	ゴール	6,219	170	0	>
117	ゴール	6,281	174	1	>
118	コスト	6,094	13036	28	8
119	コスト	6,312	1407	11	>
120	コスト	6,344	908	13	>
121	コスト	6,469	5219	0	2
122	コスト	6,156	701	0	6
123	コスト	6,344	1759	21	4
124	コスト	6,438	6858	10	37
125	コスト	6,219	1893	3	5
126	コスト	6,469	179	0	4
127	コスト	6,156	3238	8	4
128	コスト	6,469	4133	10	0
129	コスト	6,469	6651	7	>
130	コスト	6,250	1621	3	15
131	コスト	6,156	2515	8	4
132	コスト	6,062	677	0	0
133	コスト	6,156	1917	5	11
134	コスト	6,219	189	0	3
135	コスト	6,688	22052	0	0
136	コスト	6,125	393	4	17
137	コスト	6,438	708	6	0
138	コスト	6,438	29016	23	>
139	コスト	6,406	2164	4	0
140	コスト	6,125	588	2	0
141	コスト	6,344	2956	11	>
142	コスト	6,094	669	1	>
143	コスト	6,219	167	6	>
144	コスト	6,500	1033	2	>
145	コスト	6,281	277	0	6
146	コスト	6,062	429	1	4
147	コスト	6,312	421	4	2
148	コスト	6,125	5727	19	2
149	コスト	6,125	437	5	1
150	コスト	6,094	1374	2	>
151	コスト	6,094	3304	4	14
152	コスト	6,281	31399	5	>
153	コスト	6,156	3991	3	25
154	コスト	6,062	230	8	>
155	コスト	6,188	278	10	>
156	コスト	6,188	4201	8	4
157	コスト	6,375	730	22	4
158	コスト	6,312	2408	14	7
159	コスト	6,406	1448	16	4
160	コスト	6,188	1341	9	18
161	コスト	6,188	3274	0	4
162	コスト	6,500	268	1	>
163	コスト	6,281	728	8	1
164	コスト	6,094	903	0	3
165	コスト	6,062	328	0	3
166	コスト	6,312	3703	1	6
167	コスト	6,156	224	0	3
168	コスト	6,594	1510	5	3
169	コスト	6,219	2282	7	4
170	コスト	6,062	1397	5	2
171	コスト	6,094	2843	6	>
172	ショット	6,031	389	1	16
173	ショット	6,312	5825	12	>
174	ショット	6,312	8600	7	>
175	ショット	6,312	208	2	>
176	ショット	6,156	772	2	0
177	ショット	6,281	1196	0	5
178	ショット	6,344	1846	14	10
179	ショット	6,375	9642	5	>
180	ショット	6,250	1384	15	>
181	ショット	6,531	1124	123	>
182	ショット	6,344	422	4	12
183	ショット	6,438	5444	10	>
184	ショット	6,125	646	6	5
185	ショット	6,219	1305	10	>
186	ショット	6,219	1241	8	>
187	ショット	6,469	2514	8	>
188	ショット	6,125	884	5	0
189	ショット	6,094	1257	0	5
190	ショット	6,219	3408	57	7
191	ショット	6,594	18094	11	>
192	ショット	6,406	3962	34	>
193	ショット	6,156	2650	13	10
194	ショット	6,156	9608	11	3
195	ショット	6,062	488	2	>
196	ショット	6,438	368	1	4
197	ショット	6,219	3565	10	4
198	ショット	6,031	1742	2	3
199	ショット	6,531	480	2	>
200	ショット	6,219	529	8	0
201	ショット	6,344	4245	0	8
202	ショット	6,188	6681	12	>
203	ショット	6,469	1313	3	>
204	ショット	6,375	3786	11	3
205	ショット	6,344	1170	6	>
206	ショット	6,500	6771	10	3
207	ショット	6,531	420	2	9
208	ショット	6,489	808	0	3
209	ショット	6,531	17334	57	1
210	ショット	6,438	1482	25	>
211	ショット	6,062	3109	16	0
212	ショット	6,312	312	2	6
213	ショット	6,188	240	15	2
214	ショット	6,281	332	4	1
215	ショット	6,344	1036	20	0
216	ショット	6,375	642	0	8
217	ショット	6,125	5848	17	>
218	ショット	6,031	1450	12	11
219	ショット	6,062	8351	6	3
220	ショット	6,219	1057	5	8
221	ショット	6,094	40450	10	>
222	ショット	6,344	757	10	28
223	ショット	6,375	472	1	18
224	ショット	6,062	283	5	4
225	ショット	6,312	11574	0	2
226	ショット	6,312	272	0	14
227	ショット	6,031	428	8	7
228	ショット	6,062	363	0	3

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記	単語密度 ^d	単語頻度 ^d	使用度数 ^d	記事数 ^d	部分一致 ^d
229	タイロ	6.406	4814	3	1	0
230	タイロマイ	6.125	319	2	>	>
231	タイピング	6.062	362	1	>	0
232	タイム	6.219	8241	21	>	3
233	タイム	6.250	2735	2	>	12
234	タイヤ	6.438	1782	5	>	39
235	タイヤモント	6.500	2446	4	>	7
236	タイル	6.062	707	0	3	2
237	タウン	6.062	1924	1	0	0
238	タウン	6.500	1101	3	>	23
239	タウン	6.469	6878	11	>	2
240	タウン	6.031	506	0	3	0
241	タウン	6.062	1145	12	2	12
242	タウン	6.688	439	37	>	33
243	タウン	6.156	725	3	>	23
244	タウン	6.156	4920	10	>	7
245	タウン	6.219	1287	0	>	0
246	タウン	6.312	1791	9	>	17
247	タウン	6.531	926	5	>	12
248	タウン	6.406	33537	53	>	6
249	タウン	6.031	1640	0	>	11
250	タウン	6.094	238	0	4	0
251	タウン	6.156	9949	1	1	17
252	タウン	6.188	1050	0	>	6
253	タウン	6.406	907	0	1	1
254	タウン	6.582	6338	14	3	1
255	タウン	6.375	1808	13	>	1
256	タウン	6.582	418	7	>	0
257	タウン	6.531	1102	4	>	1
258	タウン	6.000	592	1	3	0
259	タウン	—	711	0	14	14
260	タウン	6.281	17937	4	0	6
261	タウン	6.250	4815	10	0	15
262	タウン	6.469	3023	24	15	15
263	タウン	6.375	25352	19	3	5
264	タウン	6.344	1173	1	3	3
265	タウン	6.250	784	6	2	1
266	タウン	6.250	2568	10	0	0
267	タウン	6.469	7914	81	3	6
268	タウン	6.000	824	2	1	6
269	タウン	6.531	824	11	>	13
270	タウン	6.594	4099	4	>	3
271	タウン	6.531	4668	13	>	3
272	タウン	6.375	4922	11	>	0
273	タウン	6.094	473	3	>	0
274	タウン	6.750	60636	57	>	9
275	タウン	6.281	2719	10	>	9
276	タウン	6.500	4557	29	>	16
277	タウン	6.000	2578	3	>	0
278	タウン	6.062	1723	0	>	4
279	タウン	6.188	236	1	>	4
280	タウン	6.156	20100	12	>	27
281	タウン	6.406	1785	16	>	4
282	タウン	6.031	1661	0	>	0
283	タウン	6.188	303	0	>	11
284	タウン	6.406	1802	0	>	4
285	タウン	6.406	824	6	>	6

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記	単語密度 ^d	単語頻度 ^d	使用度数 ^d	記事数 ^d	部分一致 ^d
286	トラム	6.592	9543	14	>	8
287	トラム	6.344	9871	11	>	9
288	トラム	6.125	332	2	1	9
289	トラム	6.125	636	5	>	0
290	トラム	6.406	436	4	>	0
291	トラム	6.188	317	2	>	0
292	トラム	6.281	30211	93	>	8
293	トラム	6.219	1831	10	1	7
294	トラム	6.438	586	32	>	12
295	トラム	6.031	192	1	>	0
296	トラム	6.406	5503	11	>	9
297	トラム	6.375	2749	9	>	11
298	トラム	6.156	583	22	0	0
299	トラム	6.406	2188	5	>	11
300	トラム	6.031	780	7	3	0
301	トラム	6.688	12238	16	>	13
302	トラム	6.094	673	5	0	2
303	トラム	6.031	153	0	>	9
304	トラム	6.312	1613	13	>	4
305	トラム	6.062	3669	3	>	10
306	トラム	6.250	247	9	0	0
307	トラム	6.219	1856	3	>	23
308	トラム	6.562	3096	8	>	5
309	トラム	6.062	1308	17	>	6
310	トラム	6.156	728	191	>	1
311	トラム	6.375	10690	20	>	5
312	トラム	6.219	1079	0	>	10
313	トラム	6.188	4065	0	3	3
314	トラム	6.094	1098	0	3	2
315	トラム	6.094	232	0	3	11
316	トラム	6.344	297	2	3	4
317	トラム	6.281	240	0	>	1
318	トラム	6.188	207	0	>	31
319	トラム	6.250	1613	8	>	0
320	トラム	6.281	332	12	>	0
321	トラム	6.344	223	0	>	0
322	トラム	6.031	4833	12	>	10
323	トラム	6.469	2500	0	>	6
324	トラム	6.219	639	5	>	1
325	トラム	6.062	391	0	>	0
326	トラム	6.438	508	2	>	0
327	トラム	6.531	2912	58	>	19
328	トラム	6.344	1171	5	5	2
329	トラム	6.344	288	1	3	2
330	トラム	6.531	1101	31	>	9
331	トラム	6.219	3271	8	0	4
332	トラム	6.312	2103	6	>	11
333	トラム	6.125	938	6	1	0
334	トラム	6.094	2188	8	>	3
335	トラム	6.281	1214	0	4	0
336	トラム	6.438	1163	19	>	0
337	トラム	6.094	1632	0	0	0
338	トラム	6.469	665	6	0	1
339	トラム	6.188	1116	6	3	8
340	トラム	6.094	372	1	3	1
341	トラム	6.312	7835	14	>	0
342	トラム	6.250	3080	9	>	5

カタカナ語(外来語)基本語彙550語——その語彙特性と選定基準

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記	単語密度 ^b	単語頻度 ^c	使用度数 ^d	記数 ^e	部分一致	単語密度 ^b	単語頻度 ^c	使用度数 ^d	記数 ^e	部分一致
343	ハレート	6.156	1402	1	2	>	6.312	1149	19	4	11
344	パウ	6.469	2749	0	9	>	6.250	560	15	0	20
345	パン	6.656	3057	25	12	>	6.531	184	0	>	6
346	ハンガー	6.188	225	1	1	>	6.062	610	2	>	1
347	ハンカチ	6.438	820	10	0	>	6.125	5751	6	>	26
348	ハンチ	6.188	953	7	2	>	6.344	3798	3	>	20
349	ハンズ	6.406	691	8	4	>	6.656	2947	7	>	1
350	バンド	6.000	2144	6	11	>	6.469	12669	31	>	6
351	バンドル	6.344	1548	7	0	>	6.531	6444	5	>	9
352	バンドレット	6.188	2769	4	0	>	6.031	5516	5	>	21
353	ハンマ	6.000	458	3	8	>	6.156	3514	5	>	0
354	ハンマースト	6.031	1111	0	0	>	6.031	494	0	0	7
355	ピアノ	6.625	5447	17	11	>	6.031	401	0	0	19
356	ピアノ	6.188	6901	0	4	>	6.250	1396	0	0	2
357	ピル	6.062	335	0	10	>	6.469	450	5	0	1
358	ピル	6.562	6357	23	6	>	6.438	2975	5	0	2
359	ピロ	6.219	1146	0	4	>	6.094	286	7	>	5
360	ピロ	6.281	166	1	0	>	6.062	515	4	0	0
361	ピロニク	6.344	188	8	0	>	6.219	4736	0	3	31
362	ピロニクス	6.375	6748	2	13	>	6.062	2	2	0	5
363	ピロニクス	6.312	286	4	0	>	6.531	381	2	0	0
364	ピロニクス	6.156	709	8	0	>	6.375	4571	25	>	5
365	ピロニクス	6.438	789	17	0	>	6.188	1874	1	>	8
366	ピロニクス	6.219	152	12	16	>	6.156	6060	22	>	2
367	ピロニクス	6.156	5699	20	10	>	6.062	216	0	>	0
368	ピロニクス	6.625	12394	0	12	>	6.188	1092	0	>	8
369	ピロニクス	6.281	1971	19	0	>	6.219	1135	1	>	7
370	ピロニクス	6.188	713	1	1	>	6.562	588	8	>	0
371	ピロニクス	6.438	21303	12	12	>	6.000	5843	6	>	17
372	ピロニクス	6.281	1758	20	3	>	6.406	6000	6	>	2
373	ピロニクス	6.250	1854	2	4	>	6.031	941	12	>	17
374	ピロニクス	6.375	1564	6	3	>	6.000	459	16	>	3
375	ピロニクス	6.156	239	1	0	>	6.625	3867	16	>	10
376	ピロニクス	6.219	223	11	2	>	6.000	6099	6	>	1
377	ピロニクス	6.312	4102	4	8	>	6.219	392	1	4	37
378	ピロニクス	6.250	11850	93	5	>	6.000	15659	17	0	1
379	ピロニクス	6.156	3766	42	16	>	6.406	5261	15	>	19
380	ピロニクス	6.031	168	2	5	>	6.312	1272	6	>	48
381	ピロニクス	6.219	9789	24	2	>	6.438	1629	57	0	3
382	ピロニクス	6.594	3298	2	5	>	6.156	552	2	0	10
383	ピロニクス	6.188	1406	3	0	>	6.375	983	9	0	7
384	ピロニクス	6.156	376	0	23	>	6.000	4326	3	0	1
385	ピロニクス	6.219	245	4	7	>	6.469	10948	3	>	1
386	ピロニクス	6.406	1000	7	2	>	6.344	2558	47	>	6
387	ピロニクス	6.406	566	55	0	>	6.281	1038	10	>	12
388	ピロニクス	6.156	385	4	5	>	—	—	0	>	15
389	ピロニクス	6.344	7600	13	2	>	6.250	483	0	0	5
390	ピロニクス	6.281	3394	9	0	>	6.469	30818	56	0	9
391	ピロニクス	6.125	203	1	0	>	6.544	619	6	0	4
392	ピロニクス	6.344	548	2	12	>	6.156	324	5	0	0
393	ピロニクス	6.156	2286	11	8	>	6.094	1442	16	0	0
394	ピロニクス	6.156	268	2	1	>	6.156	182	3	0	42
395	ピロニクス	6.114	5132	9	3	>	6.031	1675	5	0	12
396	ピロニクス	6.469	1066	5	0	>	6.125	5945	8	>	37
397	ピロニクス	6.000	301	0	27	>	6.000	943	6	>	24
398	ピロニクス	6.000	187	12	0	>	6.156	1049	6	>	7
399	ピロニクス	6.094	577	0	7	>	6.156	2302	14	>	0

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記	単語頻度 ^a	使用度数 ^d	記事数 ^e	部分一致
457	マジック	6,188	887	0	6
458	マシ	6,082	658	0	3
459	マス	1,272	1,198	0	12
460	マスク	6,312	1,198	8	>
461	マスクット	6,094	243	1	>
462	マスクター	6,250	682	6	>
463	マッサー	6,469	1040	0	3
464	マツ	6,188	951	6	10
465	マツト	6,031	605	1	11
466	マネー	6,250	1,363	0	6
467	マネージャー	6,250	1,198	7	13
468	マネキン	6,062	179	2	2
469	マヨネーズ	6,219	1,917	19	>
470	マヨネーズ	6,500	425	7	0
471	マラソン	6,406	4414	1	0
472	マンモス	6,062	444	4	0
473	ミイラ	6,031	444	4	0
474	ミシン	6,188	692	31	>
475	ミス	6,156	7455	16	>
476	ミュージカル	6,312	2,472	18	3
477	ミュージック	6,250	668	6	0
478	ミラー	6,188	335	0	1
479	ミルク	6,375	788	7	16
480	ムード	6,156	788	7	0
481	ムービー	6,281	5,699	7	0
482	メダル	6,281	4,991	27	0
483	メタル	6,312	5133	86	15
484	メッセ	6,094	3891	0	3
485	メッセ	6,531	8683	1	0
486	メッセ	6,469	2,333	1	0
487	メッセ	6,344	8274	16	4
488	メロディー	6,281	6,281	10	1
489	メンバー	6,286	364	2	>
490	モーター	6,438	21,301	12	>
491	モーター	6,000	1,475	18	13
492	モザイク	6,281	131	5	4
493	モザイク	6,000	350	0	3
494	モーター	6,438	8901	42	3
495	モーター	6,344	2,063	11	9
496	モーター	6,094	1,478	6	1
497	モーター	6,281	2,096	5	4
498	モーター	6,406	188	0	0
499	モーター	6,312	1,073	6	10
500	ラグビー	6,031	4,255	20	29
501	ラグビー	6,094	2,538	3	48
502	ラグビー	6,250	326	2	0
503	ラグビー	6,500	8,696	55	7
504	ラケット	6,375	288	3	3
505	ラケット	6,582	317	3	3
506	ラケット	6,188	3,345	5	0
507	ラケット	6,062	899	0	6
508	ラケット	6,031	382	1	10
509	ランニング	—	1,752	0	11
510	ランナー	6,094	1,642	1	0
511	ランナー	6,344	214	3	5
512	ランニング	6,156	718	4	>
513	ランニング	6,156	530	3	0
		6,125	856	15	22

付表 カタカナ語基本語彙550語

番号	表記	単語頻度 ^a	使用度数 ^d	記事数 ^e	部分一致
514	リスト	6,344	5,915	3	>
515	リズム	6,125	6,444	4	7
516	リズム	6,281	3,594	13	4
517	リズム	6,062	137	0	5
518	リズム	6,438	761	14	2
519	リュックサック	6,250	284	0	4
520	リュック	6,094	1,197	2	0
521	リュック	6,031	1,117	12	>
522	リュック	6,062	9160	2	5
523	リュック	—	273	0	3
524	リュック	6,344	9,481	2	24
525	リュック	6,344	215	0	3
526	リュック	6,312	8,147	0	2
527	リュック	6,062	1,722	11	>
528	リュック	6,406	4,167	3	17
529	リュック	6,469	1,036	4	6
530	リュック	6,594	4878	6	9
531	リュック	6,000	210	0	4
532	リュック	6,188	17,019	5	0
533	リュック	6,500	844	6	5
534	リュック	6,188	214	0	3
535	リュック	6,156	1,513	0	7
536	リュック	6,344	395	32	4
537	リュック	6,031	477	7	>
538	リュック	6,062	1,441	0	33
539	リュック	6,312	4,079	5	2
540	リュック	6,031	1446	2	7
541	リュック	6,188	3,714	15	10
542	リュック	6,250	2,468	2	1
543	リュック	6,281	2,470	4	1
544	リュック	6,188	1,056	1	14
545	リュック	6,188	251	4	0
546	リュック	6,156	130	1	7
547	リュック	—	212	0	11
548	リュック	6,062	647	1	33
549	リュック	6,469	4,052	0	0
550	リュック	6,250	247	5	2
				5	7
				4	0

a: 複数の表記をもつ語彙(表記のゆれ・略語)は、基本的には単語頻度・単語頻度の高い表記を示す
 b: 『日本語の語彙特性 第1巻 単語頻度』(天野・近藤編著, 1999)より文字音声単語頻度を示す。一印は単語頻度(2以上の語) / 単語頻度(2以上の語)
 c: 『日本語の語彙特性 第7巻 頻度』(天野・近藤編著, 2000)より単語頻度(全体)を示す
 d: 『現代雑誌九十種の用語用字 全語彙 表記』(国立国語研究所, 1997)より合計度数を示す
 e: 『朝日新聞朝刊紙面ユーザーデータベース 昭和元年～9年編』(朝日新聞社, 2001)より記事語彙の出現記事数を示す。(> 印は記事数5件以上)
 f: 『広辞苑 第五版(CD-ROM版)』(新村出記念財団, 1998)より表記語彙(単語語)を含む合成語(複合語・和製語・派生語)・句・文等の合計数を示す。

